

# むすびめ通信

Musubime works for the better society

Bible:エペソ人への手紙4:16



湯本沙友里 ニュースレター

Vol.018 2023年12月発行



フリースクールの  
夏季学級にて

いつも、むすびめ通信をご覧いただきありがとうございます。クリスマス待ち望む季節、みなさんにも豊かな祝福がありますよう、お祈りいたします。

今年の8月、エチオピアへの訪問を終えた後、シンガポールとマレーシアに足を運びました。そこでは、エチオピアでの活動について報告する機会に恵まれ、多くの人々と出会いました。アカコ村の通学が困難な子どもたちを支援するため、マレーシアの子どもたちが心を込めて手紙や手作りのプレゼントも届けてくれました。

帰国してからも、岐阜、横浜、東京、福岡、茨城、栃木、岡山を訪問し、学校、大学、こども園、教会、カンファレンスなど様々な場でエチオピア活動の報告講演や講義（オンラインを含む）をさせていただきました。名古屋市内でも地域の学生達と協働でイベントに出店する機会がありました。活動を応援してくださっている方が足を運んでくださり大きな励みとなりました。ありがとうございました。

過去3年間は、コロナ禍による渡航制限の中、活動の継続について悩むこともありました。しかし、そうした困難を乗り越えて、今年でエチオピアとの関わりが10年目を迎えることができました。これを機に、国内外で新しい繋がりが広がり、今後の展開に大いなる期待を抱いています。

クリスマスの時期、イエス・キリストが示したように弱い立場にある人々と共に歩み、愛を分かち合うことの大切さを感じています。国を越えても同じ志を持つ仲間たちと、共に歩める人生が与えられた喜びをかみしめています。

マレーシアでの報告会



シンガポールでの報告会



倉敷芸科大学での特別講義



南山大学 CLOVER とタカシマヤ出店

12月末～1月末までエチオピアへ渡航します

エチオピアの暦ではクリスマスは1月7日です。今回は、皆さんから寄付していただいた学習用具などのギフトを届け、地域の方を招いたクリスマス祝会を開催する計画を立てています。大学生が同行してボランティア活動も行ってくれます。まだ厳しい状況から抜け出すことができずにいるアカコ村の人々へ、日本から関心を寄せている人たちがいることを伝え、未来への希望を持ち生活を築き上げる励みになればと願っています。引き続き、ご支援とお祈りをよろしくお祈りいたします。

エチオピアのデレジェから届いている報告を掲載します。

## 9月～11月までのアカコ村

【改善しない村の厳しい現状と生徒数の減少】

報告者:デレジェ・ギルマ(Dereje Girma)  
DTSプロジェクトマネージャー/教師



アカコ村の状況は今も改善していません。「違法建築」の名の下、政府の権限で人々の家は今も壊され続けていて、そのような状況下でも私たちはプロジェクトを継続していますが、フリースクールの生徒や家族の中にもこの地域に住み続けられなくなる人々が多くいます。公立校の学期が始まると生徒たちは遠く離れた学校に行く必要があるため、フリースクールの生徒数も減少しました。

現在は放課後クラスを午後3:30～5:30までに設定し、約40名の生徒たちが加わってくれています。インターネットの動画学習教材も使いながら、授業はできるだけ楽しくなるように工夫し、形式的な授業をこなすだけでなく、遊び心に満ちた学びになることを目指しています。



## ■校舎のメンテナンス

学校の協力をいただきながら、今の校舎は3年ほど使ってきたので、壁の修繕を含むメンテナンスが必要になってきています。雨期に生徒たちが走り回るので、教室の壁が非常に汚れてしまっていて、生徒たちにとって良くない状況になっており、学校の所有者からメンテナンスをして欲しいと要請がありました。私たちは共働で壁のペンキ塗りをすることに決め、今は美しい壁に生まれ変わりました。また、教室の椅子のいくつかも修繕を必要としています。こちらは予算が足りずにまだ出ていません。



## ■困難な状況でも最善の努力をして、地域に仕える

アカコ村の困難な状況にもかかわらず、私たちのプログラムは今も「輝き」を放っていて、継続してきた年月に比例して地域からの信頼も厚くなってきています。私たちが最善の努力をしているのを見て、多くの家庭が喜んで生徒たちを送ってくれており、生徒たちは授業を楽しんでくれています。今は私と教師2名、用務員の4名のスタッフで運営していて、この働き方の火を消さないために一同、情熱を傾けています。

## 6月～9月までの夏季特別学級



絵画作品は10月に世界食料デー登別大会で展示されました。

生徒が能力を開花させていく様子を目の当たりにしました。

私たちは授業の中で生徒たちの学科習得だけでなく、思考能力や芸術感覚も養われるように工夫しました。特に芸術クラスでは何人かの生徒たちが自らの隠れた才能に気付いていくのを目の当たりにすることができました。多くの生徒たちは休みの期間に過ごすべき場所として理想的な環境で過ごすことが出来、保護者たちはこのような教育機会が与えられたことに感謝していました。

想像以上の参加者が与えられ、喜びに満ちた素晴らしい機会でしたが、幾人かの生徒たちに教師たちが手を焼くこともありました。それでも教師やスタッフたちは生徒たち最高の教育を提供するために最善を尽くしました。



私たちのプログラムは他の地域で提供されているものとは以下の点で際立っていました。

- 日本の寄付者からの教材の提供があったため、他ではされていないような授業を行うことができたこと。
- 日本など海外からの視察者にも恵まれました。海外からの人々が私たちのプログラムに注目してくれることで、この働きを続けていく大きな動機付けを受けたこと。
- 5人の教師、110名の生徒という大規模で行うのは今回が初めての試みだったこと。
- 湯本氏が2か月という長期間にわたり滞在してくれて、生徒にとっても教師にとっても大きな励ましの機会となったこと。

## 映画会や、親たちへの教育



保護者向けのプログラム  
マレーシア人のミシェル医師が担当

生徒たちの健康や将来を含むあらゆる側面で包括的な影響力を持つのは彼らの保護者ですから、私たちは親たちへの啓発の機会も同時に用意しました。アカコ村の親たちの子育ては、知識の不足や文化的な背景からいくつかの問題もありましたから、私たちは児童たちの母親に対して、栄養学、保健衛生、家族計画などについて学べる教室をプロジェクトの一部として保護者たちのために準備しました。

親たちがよく理解できるように参加型の学習によって行われたため、親たちは健康を守り、子どもたちの将来の幸福に資するような知識を得ることができました。伝統的だけれど科学的には間違っているような考え方ややり方を修正する決意をした母親もいましたし、多くの母親たちはこのような教室が有益だと、アカコ村の他の親たちにも推薦してくれていました。

人々のために力の限り奉仕するこのような機会を可能にくださった支援者の皆様に改めて最大限の感謝の意をお伝えたいと思います。日本の皆様にも是非アカコ村を訪問・視察し、この働きによってもたらされている地域の変化を直接、目撃していただけたら幸いです。

マネージャー・教師のデレジェ(右)と  
学校スタッフ、牧師(左)



## 連絡先

湯本 沙友里 Sayuri Yumoto

NGO「声なき者の友」の輪 カタリスト  
むすびめワークス 代表

Email: sayuri @ karashi.net

WEB: <https://musubime-works.com/>

■最新報告はウェブサイトから→



## 支援のための寄付方法

支援をもってご協力くださる方はお手数ですが下記の口座にお振込みください。Paypal 送金もご利用いただけます。報告はニュースレターにて随時お知らせしますので、配信ご希望の方はご連絡ください。

## paypal から送金

ユーザー名: @sayujoy

メールアドレス: sayuri.joy@gmail.com

プロフィール名: Sayuri Yumoto



## ゆうちょ振替口座

①ゆうちょ振替口座

口座番号: 00830-9-137685

名義: 湯本沙友里

■他銀行等から

店名: 〇八九店(ゼロハチキュウ) 当座0137685

②ゆうちょ振替口座

口座番号: 00180-0-300201

名義: FVI

支援金はどちらの口座も同様に活動に関わる経費に充てられます。支援者の方へは年度ごとの会計報告をお送りしていますのでご確認ください。

FVI名義の口座では、湯本が所属する非営利団体「声なき者の友」の輪の税理士より監査を受けて年次報告いたします。